

平成 20 年 10 月 30 日

騒音計測技術セミナー 参加報告

物理化学系班 増 田 博 代

1. はじめに

平成 20 年度科研費採択課題研究に必要となる騒音計測技術の基礎的知識を習得するため、下記の 2 セミナーに参加した。内容が類似のため合わせて報告する。

- (1) 騒音・振動技術講習会 (H20/8/4)
- (2) 騒音・振動レベル測定の基礎技術セミナー (H20/10/24)

2. 主催

- (1) プリュエル・ケアー・ジャパン スペクトリス(株)
- (2) リオン(株)

3. 日程および会場

- (1) 平成 20 年 8 月 4 日(月)
東京都品川区西五反田 8 - 4 - 13 ゆうぼうと
- (2) 平成 20 年 10 月 24 日(金)
東京都国分寺市東元町 3-20-41 リオン(株) セミナールーム

4. 内容

- (1) 騒音および音響計測の考え方を短時間に習得することを目的とした、入門講座である。騒音計測に必要な音響学の基本用語および騒音計の基本機能について、また周波数分析および計測用マイクロホンについての講義を受講した。
- (2) 音・騒音の基礎知識の講義を受け、騒音レベル計および振動レベル計を用いた測定実習を行った。またリオン(株)社内にある音響博物館・無響室見学を行った。

5. 所感

後期 2 年生の物理実験において「低周波音」をテーマとして取り上げ、実験がスタートしている。このテーマは報告者の平成 20 年度科研費採択課題であり、本年から初めて取り組むテーマである。他にも 10 テーマを提示し学生に自由にテーマ選択させたところ、「低周波音」には 3 名一班の 3 グループが選択した。音の物理的性質は 2 年生物理で学習する分野であるが、20Hz 前後の低周波音に関しては「聴こえない音」としていまだ社会的に認知度は低い。今回の科研費を受け、騒音レベル計および周波数分析プログラムカードを購入したため、その測定方法や音の基礎知識、最新の音響関連の研究情報等を収集するため、今回のセミナーに参加したものである。

環境騒音と一言でいっても種々の騒音があり、またその音源特定、音源対策も一様ではない。その上、低周波音は耳に聴こえにくいという観点からも、奥が深いというのが学習するほどに解ってきた感があるが、このセミナーに参加し実験指針の方向性が生まれたことは確かである。無響室見学では、殆どの音が吸収されてしまう異次元とも思える空間を体験して非常に興味深かった。